



2018年度 後期 漢検 漢字文化研究所 連続講座 第4弾



「明治150年と漢字」

明治維新を機とする「文明開化」から現代にいたるまでの150年間に、日本はさまざまな領域で大なる変化を経験したが、言語と文字についても、それは例外ではなかった。今回は、この150年のあいだに起こった文字文化の変容について考える。



10月13日(土)
14:00～15:30

文明開化と漢語

愛知大学 教授
荒川 清秀



11月24日(土)
14:00～15:30

**日本漢字音研究の発展
—有坂秀世を中心に—**


京都産業大学 教授
森 博達



12月1日(土)
★10:30～12:00

民衆と漢字


早稲田大学 教授
笹原 宏之



1月19日(土)
14:00～15:30

**戦後の漢字政策と
その反響**

辞書編集者
円満字 二郎



2月9日(土)
14:00～15:30

**「国語科」誕生以前の
漢字教育**

京都市学校歴史博物館学芸員
和崎 光太郎



3月9日(土)
14:00～15:30

これからの漢字を考える

漢検 漢字文化研究所長
阿辻 哲次

聴講料
各回 1,500円
(入館料込)
年パスお持ちの方
各回 800円

場所：漢字ミュージアム多目的室
※講座は、各回違うテーマで全6回ですが、内容が連続する講座ではありません。
ご自身の都合に合わせて、ご興味のあるテーマのみの受講ができます。

聴講料 全回早期一括申込み割引 (2018年10月13日まで)
入館料込 8,000円 年パスと同時申込み 6,500円
(年パスお持ちの方 4,000円)

講座の申込みは、電話または券売受付で！**複数回を受講される方は、「年パス」の購入がお得です。**



漢検 漢字博物館・図書館
Japan Kanji Museum & Library

申込み・問い合わせ先
電話：075-757-8686
www.kanjimuseum.kyoto